夢追人Ⅴ

かとう学園　宗像市立河東中学校
学校通信11月　第32号(R3. 11. 26)

新生徒会役員を選ぶ立会演説会をひらきました

昨日、新しい生徒会役員を選出するために、立会演説会を開催しました。今回、総勢 21 名の１・２年生が立候補してくれました。３ 年生がコロナ禍で築いた様々な試みを引継ぎ、河東中に新しい風を吹かせてくれる予感がしました。

候補者は、あいさつの事・ゴミ拾いの事・生徒の意見の集め方など河東中をより良くするための思いを堂々と話してくれました。候補者も応援者も皆素晴らしいスピーチでした。中学生とは思えない立派で溌剌とした演説会でした。頼もしい１・２年生です。選挙結果に関係なく、ステージに立った 63 人が中心となって新しい河東中の文化を創ってくれることを感じさせる立会演説会でした。

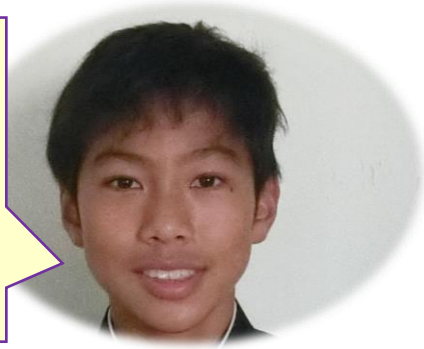
部活動・社会体育で頑張っている人達　Part 6

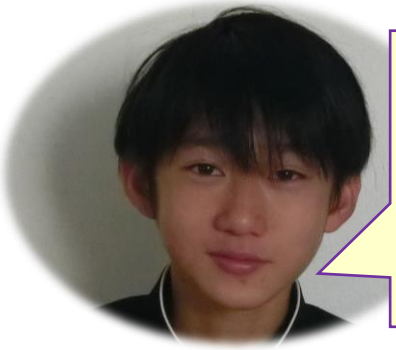
【　LEON 福岡（サッカークラブチーム）　恵濃　大我　さん　】

僕が所属しているLEON 福岡は、県の２部リーグに所属しています。昨年は、九州大会に出場しました。今年は、２部リーグで試合を行いました。今年の目標は、１部への昇格と九州大会出場です。日々チームメイトとボールを使った練習やフィジカルトレーニングを行っています。チーム全体で協力し、必ず九州大会に出られるように頑張ります。ぜひ応援よろしくお願いします。

【　L-PRIDE（サッカークラブチーム）　佐々木　柊斗　さん　】

僕たちL―PRIDE は、あいさつや整理整頓などを心掛け、新人戦で一回でも多く勝てるように頑張ってきました。技術面に関しては、まだまだ伸ばしていける人が多いです。だから、一人一人の基礎の技術を上げ、今よりも良いチームになるように、頑張っていきたいです。そして、試合本番では最後まであきらめず、全力で戦います。応援よろしくお願いします。





【　宗像セントラル（サッカークラブチーム）　小山　翔永　さん　】

僕たちは、九州大会出場、２部昇格するために、日々練習に励んでいます。親やコーチに感謝し、一つ一つの試合を大事にし成長しています。また、三年生も２部昇格を目標にしていましたが、叶わず悔しい思いをしたので、次は僕たちで２部昇格を実現させます。応援よろしくお願いします。

研究授業の風景

試験期間中に中断していた先生方の授業研究が再び始まりました。今週は３本の公開授業研究が実施されました。保護者の皆様には、コロナ禍で本年度は十分に授業参観を実施できませんでしたので、学校だよりで授業の様子を少しずつお知らせしています。

長尾先生（道徳）

１年３組で行われた道徳の授業。本当の思いやりとは何なのか、善意のつもりと受け取る相手の気持ちを考えました。

長尾先生の歯切れのよい質問と展開で生徒たちは「本当の思いやり」を追究していました。学習プリントへの自分の考えの書き込みやグループでの話し合いに一年生とは思えない道徳の学びの深さを感じる授業でした。

新川先生（道徳）

２年２組で行われた道徳の授業。「注文をまちがえる料理店」なにやらいわくありげなタイトルで、考えさせられる授業でした。

認知症の人たちが経営し運営する料理店。高齢化社会が進んでいく世の中で、現実にあるお店の話。実際の映像も見ながらリアルに考えていました。生徒は難しい内容を真剣に考え、自分の思いをしっかり書いていました。

仲野先生（数学）

１年３組で行われた数学の授業。反比例のグラフの特徴をタブレットを使って解明していきました。

反比例の学習。まず、ＸとＹの数の変化の表を作りました。次にグラフに 10 個ほど点を打つ作業をプリント上に手作業で行います。この授業の真骨頂は、その後タブレットを使って数多くの点を打ち線にすることです。

日本語の美しさ・面白さについて　Part４
～　俳人　夏井いつきさんの文章より　～

プレバトなどのテレビ番組でおなじみの夏井先生の言葉を紹介します。

『　俳人の世界ではよく「生憎（あいにく）という言葉はない」と言われます。「きょうは生憎（あいにく）の雨で桜を見ることができない」―これは一般人の感覚ですが、俳人たちは「これで雨の桜の句をよめる」と考えます。雲に隠れて仲秋の名月（ちゅうしゅうのめいげつ）が見えない時には「無月を楽しむ」、雨が降ったら「雨月を楽しむ」ととらえます。

これは日本人ならではの精神であり、俳人の心根にあるものなのかもしれません。その精神で俳句を続けていくと、個人的な不幸や病気、苦しみ、憎しみなどマイナスの要素のものが、すべて句材となるのです。』